千葉市大規模盛土造成地マップ

はじめに

2004年に発生した新潟県中越地震や、2011年に発生した東日本大震災などの近年の大地震では、谷間や斜面に広範囲の造成を行った大規模盛土造成地で滑動崩落（地震発生時に、盛土全体または一部が斜面下部方向へ地滑りのように移動・崩落すること）が発生し、多くの宅地被害が生じました。

今後も大地震の発生が予想され同様の被害が想定されることから、国では被害を未然に防ぎ安全を確保するため、「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン」（以下「ガイドライン」と表記）を定め、全国で大規模盛土造成地の調査を行っています。

千葉市でも国の補助を受け、大規模盛土造成地の把握をするため、2016～2018年度に調査を実施しました。その調査結果を大規模盛土造成地マップとして公開しています。

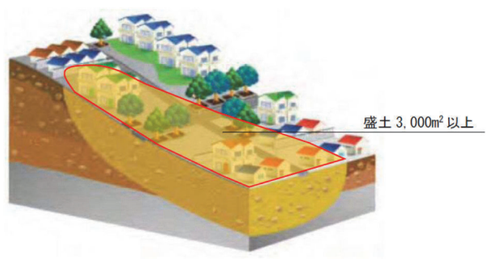
このマップは、市民の皆様が身近な大規模盛土造成地の位置を把握し、今後の防災意識を高め、災害の未然防止につなげることを目的として作成したものです。

大規模盛土造成地とは

ガイドラインによる大規模盛土造成地には、「谷埋め型」「腹付け型」の2種類の型があります。

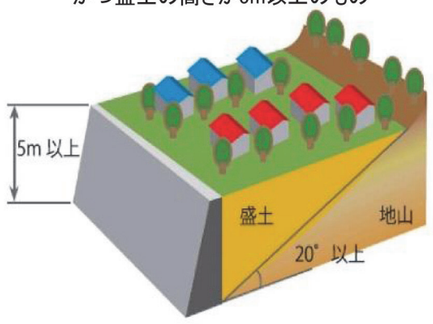
① 谷埋め型大規模盛土造成地

谷を埋め立てた造成地で、
盛土の面積が3,000㎡以上のもの



② 腹付け型大規模盛土造成地

傾斜地に盛土した造成地で、
地山（造成前の原地盤）の勾配が20度以上、
かつ盛土の高さが5m以上のもの



（画像はいずれもガイドラインより）

【宅地耐震化に関するホームページ】

●宅地防災／国土交通省
http://www.mlit.go.jp/toshi/web/index.html

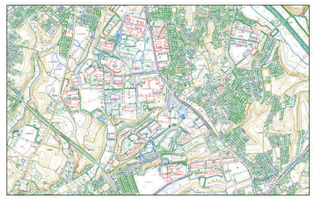
●我が家の擁壁チェックシート／国土交通省
http://www.mlit.go.jp/crd/web/jogen/pdf/check.pdf

●重ねるハザードマップ／国土地理院
https://disaportal.gsi.go.jp/maps/

大規模盛土造成地マップができるまで

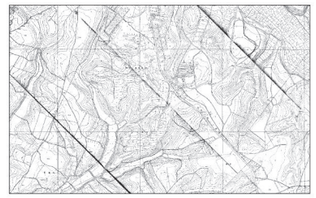
基礎資料収集

現況地形図データ(1/2,500)

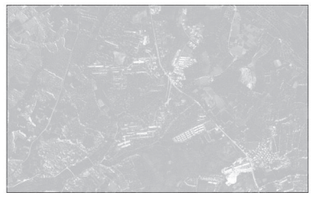


宅地造成後の地形取得のための資料
（主に平成18～22年度）

旧版地形図(1/2,500・1/3,000)

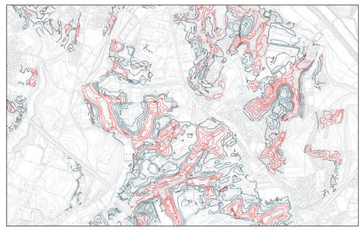


空中写真(1/10,000～1/20,000)



宅地造成前の地形取得のための資料
（主に昭和20～30年代）

重ね合わせ



宅地造成前の写真・地形図と宅地造成後の地形データの新旧のデータをコンピュータ上で重ね合わせを行います。

大規模盛土造成地の抽出

計算を行った結果、造成後の高さや勾配、面積がガイドラインで該当するものを抽出します。

大規模盛土造成地に関するQ＆A

Q1　なぜ、このマップを作成したのですか。

A1　市民の皆様に大規模盛土造成地が身近に存在するかどうかを知っていただき、皆様の防災意識を高めていただくために、市内における大規模盛土造成地の分布図を作成しました。
なお、このマップは大規模盛土造成地の危険度を示したものではありません。

Q2　大規模盛土造成地は危険ということですか。

A2　本マップは、市内に分布する大規模盛土造成地の概ねの位置を示したものであり、マップに示されている箇所が必ずしも危険というわけではありません。
なお、千葉市内は全域が宅地造成等工事規制区域に指定されています。

【お問い合わせ先】
千葉市都市局都市部都市安全課　土地班
〒260-0026　千葉市中央区千葉港1-1　千葉市役所低層棟4階
電話：043-245-5329　FAX:043-245-5627
URL: https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/anzen/

2025年5月作成